

# 宝塚市ひきこもりアンケート 実施結果

令和7年(2025年)11月

## 目次

調査概要 .....	- 1 -
調査結果 .....	- 2 -
1 回答者の概要 .....	- 2 -
2 ひきこもり当事者について .....	- 3 -
3 ひきこもり関係者について .....	- 13 -
4 その他の回答者について .....	- 24 -
5 自由意見 .....	- 25 -
6 アンケートフォーム .....	- 27 -

## 調査概要

### 1 調査名

宝塚市ひきこもりアンケート

### 2 調査の目的

- ・市民のひきこもりの実態を知り、ニーズを把握する。
- ・ひきこもりに関する相談を希望する方と市の相談窓口をつなぐ。

### 3 調査の対象・方法・期間

#### 【調査対象】

宝塚市在住の方

#### 【調査方法】

web回答

広報たからづか10月号に掲載された二次元コードから市ホームページを読み込み、リンクURLから専用フォームにて回答

#### 【調査期間】

<調査開始>

令和7年9月28日から、広報たからづか及び市ホームページで調査実施を公表

<回答期限>

令和7年10月31日

# 調査結果

## 1 回答者の概要

### 【定義】

調査結果を取りまとめるにあたり、回答者を以下の3通りの属性に分類して集計・分析を行った。

#### ①「ひきこもり当事者」

問「あなた自身を含め、ご家族等身近にひきこもり状態の方はいますか。該当する方がいる場合はその人数をお答えください。」に、「1人」～「4人以上」と回答した方で、問「ひきこもり状態の方から見ると、あなたはどのような関係にありますか。」に、「本人」と回答した方。

#### ②「ひきこもり関係者」

問「あなた自身を含め、ご家族等身近にひきこもり状態の方はいますか。該当する方がいる場合はその人数をお答えください。」に、「1人」～「4人以上」と回答した方で、問「ひきこもり状態の方から見ると、あなたはどのような関係にありますか。」に、「親」～「その他」と回答した方。

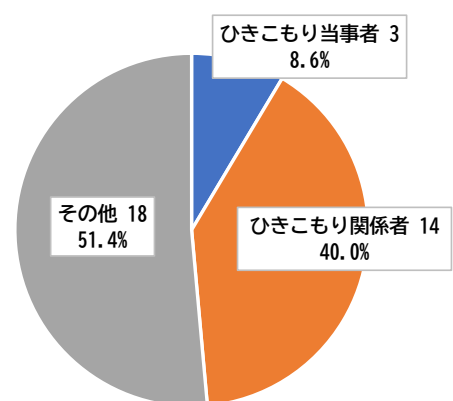
#### ③「その他」

問「あなた自身を含め、ご家族等身近にひきこもり状態の方はいますか。該当する方がいる場合はその人数をお答えください。」に、「いない」と回答した方。

### 【属性別回答数】

回答者属性	回答数	割合
ひきこもり当事者	3	8.6%
ひきこもり関係者	14	40.0%
その他	18	51.4%
合計	35	100%※

※各項目の割合は小数点以下第2位を、合計欄の割合は小数点以下第1位を四捨五入して算出している。そのため、各項目の割合の合計が100%にならないことがある。(以下同じ)



### 【留意点】

回答が少数のため、本調査の結果を「ひきこもり当事者」や「ひきこもり関係者」の傾向

として一般化することは困難である。一方で、当事者やご家族等からいただいた貴重なご意見であり、市内のひきこもりに関係する方々の具体的なニーズとして受け止め、支援の一層の充実に生かしていく。

本市のひきこもりの実態については、相談窓口の周知等とあわせて、引き続き把握に努めていく。

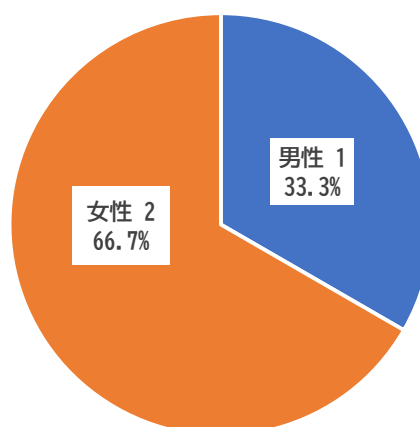
## 2 ひきこもり当事者について

回答数35件のうち、3件(8.6%)が、回答者本人が「ひきこもり当事者」と回答。

※本調査における「ひきこもり当事者」は、あくまでも回答者自身の認識であり、厚生労働省が示しているひきこもりの定義（様々な要因の結果として社会的参加(就学、就労、家庭外での交遊など)を回避し、原則的に6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態を指す現象概念(他者と交わらない形での外出をしてもよい)）で示す期間要件より短い場合（6ヵ月未満）も含む。

### 【性別】

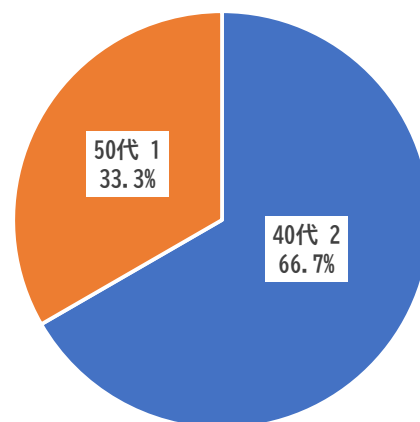
項目	回答数	割合
男性	1	33.3%
女性	2	66.7%
合計	3	100%



・女性が男性を上回っている。

### 【年齢】

項目	回答数	割合
40代	2	66.7%
50代	1	33.3%
合計	3	100%



・「40代」が最も多い。

【世帯構成】

項目	回答数	割合
ひとり暮らし	1	33.3%
家族と同居	2	66.7%
合計	3	100%

【今の生活の経済事情】

項目	回答数	割合
余裕がある	0	0%
普通	1	33.3%
やや厳しい	0	0%
非常に厳しい	2	66.7%
合計	3	100%

・経済的に「余裕がある」と回答した方はいなかった。

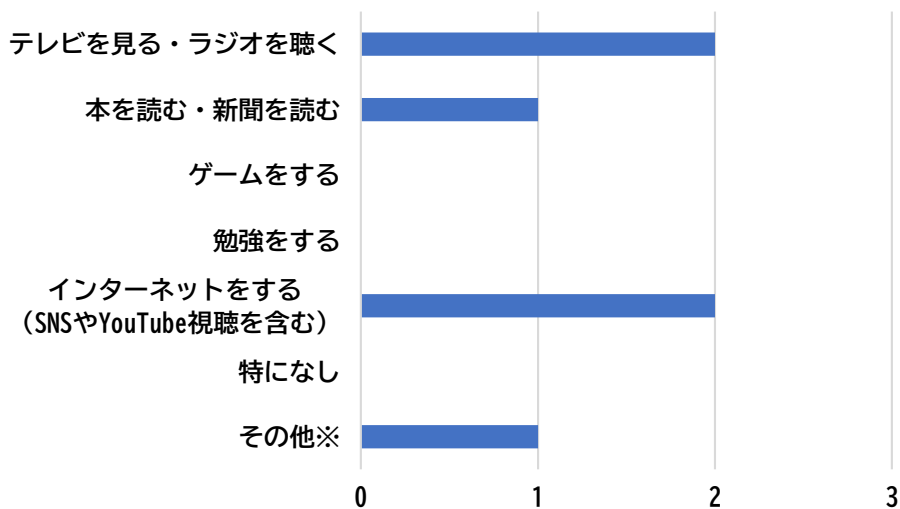
【現在の就労・就学等の状況】

項目	回答数	割合
休職中	0	0%
就学中（予備校生を含む）	0	0%
休学中（おおむね半年以上）	0	0%
派遣社員などに登録しているが、 現在働いていない	1	33.3%
既に定年等により退職している	0	0%
専業主婦・主夫	0	0%
家事手伝い	0	0%
無職だが求職している	1	33.3%
無職で求職活動していない	1	33.3%
合計	3	100%

【自宅にいるとき、よくしていること】※複数回答可

項目	回答数	割合
テレビを見る・ラジオを聴く	2	33.3%
本を読む・新聞を読む	1	16.7%
ゲームをする	0	0%
勉強をする	0	0%
インターネットをする (SNSやYouTube視聴を含む)	2	33.3%
特になし	0	0%
その他※	1	16.7%
合計	6	100%

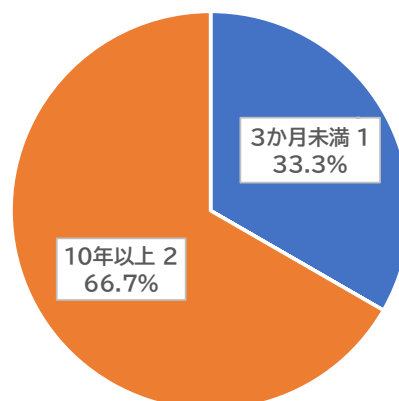
※その他:不安な気持ちのまま時間が過ぎる。



・「テレビを見る・ラジオを聴く」、「インターネットをする (SNS や YouTube 視聴を含む)」が多い。

【家族以外の他者と交流しなくなった期間】（買い物、病院等の窓口でのやり取り等は除く）

項目	回答数	割合
3か月未満	1	33.3%
3～6か月未満	0	0%
6か月～1年未満	0	0%
1年～3年未満	0	0%
3年～6年未満	0	0%
6年～10年未満	0	0%
10年以上	2	66.7%
不明	0	0%
合計	3	100%



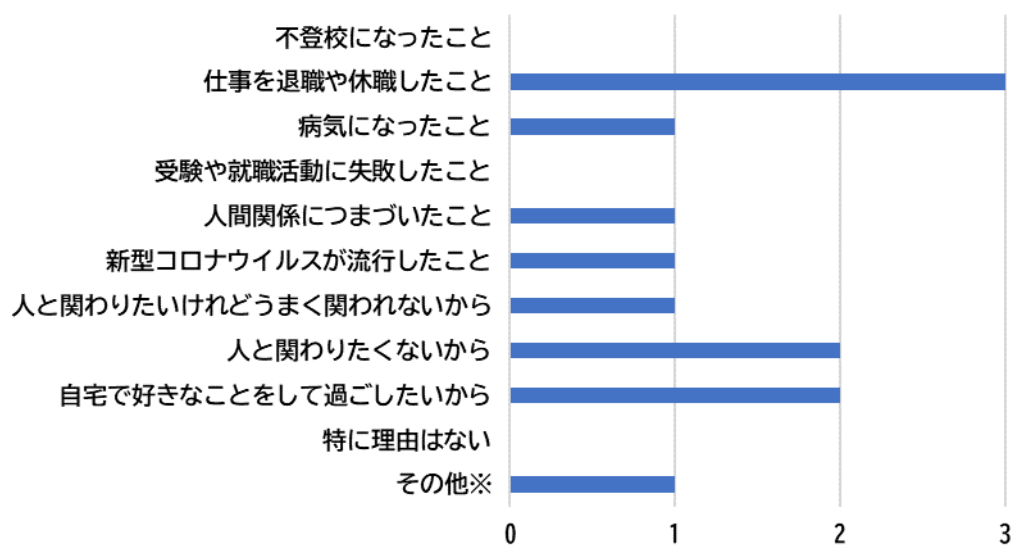
・厚生労働省の示すひきこもりの定義（6か月以上にわたって概ね家庭に留まり続けている状態）に該当するのは、3名中2名（66.7%）。



【他者と交流しなくなったきっかけ】※複数回答可

項目	回答数	割合
不登校になったこと	0	0%
仕事を退職や休職したこと	3	25.0%
病気になったこと	1	8.3%
受験や就職活動に失敗したこと	0	0%
人間関係につまづいたこと	1	8.3%
新型コロナウイルスが流行したこと	1	8.3%
人と関わりたいけれどもうまく関われないから	1	8.3%
人と関わりたいたくないから	2	16.7%
自宅で好きなことをして過ごしたいから	2	16.7%
特に理由はない	0	0%
その他※	1	8.3%
合計	12	100%

※その他:仕事に就いても体調や精神面で長く続けられなくなったから。

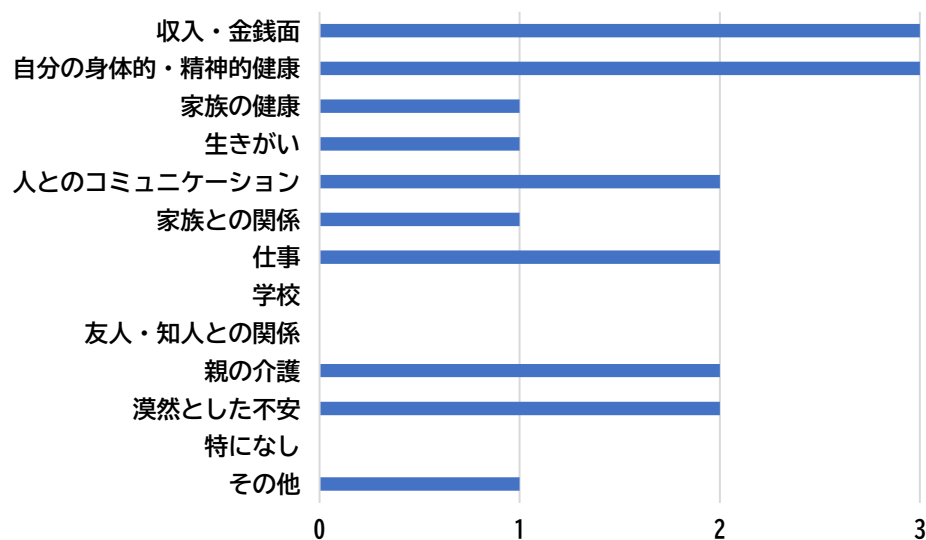


- ・「仕事を退職や休職したこと」が最も多い。
- ・次いで、「人と関わりたいたくないから」、「自宅で好きなことをして過ごしたいから」が多い。

【現在の生活において不安に感じていること】※複数回答可

項目	回答数	割合
収入・金銭面	3	16.7%
自分の身体的・精神的健康	3	16.7%
家族の健康	1	5.6%
生きがい	1	5.6%
人とのコミュニケーション	2	11.1%
家族との関係	1	5.6%
仕事	2	11.1%
学校	0	0%
友人・知人との関係	0	0%
親の介護	2	11.1%
漠然とした不安	2	11.1%
特になし	0	0%
その他※	1	5.6%
合計	18	100%

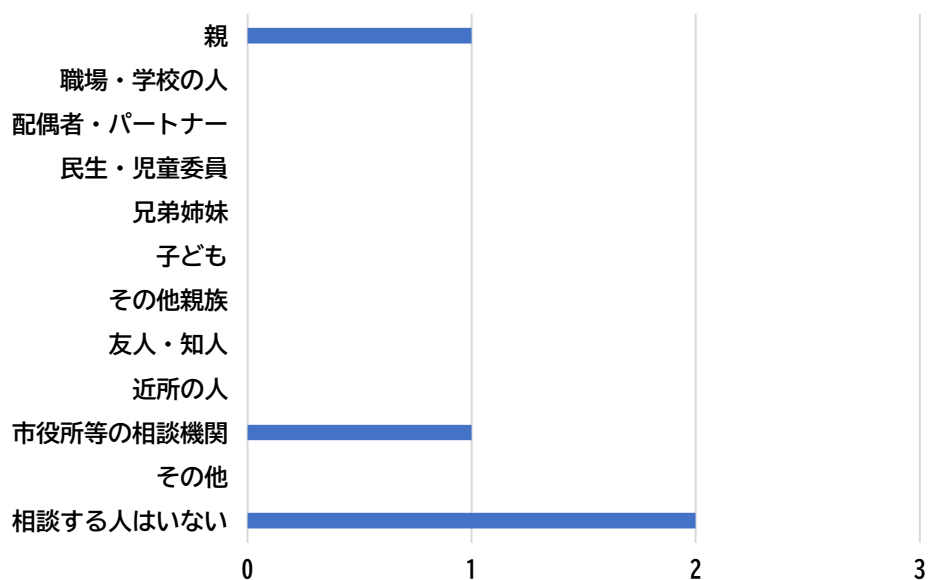
※その他:今後の生活。マイナンバー関係などの手続き。



- ・「収入・金銭面」、「自分の身体的・精神的健康」が最も多い。
- ・次いで、「人とのコミュニケーション」、「仕事」、「親の介護」、「漠然とした不安」が多い。

【日常生活の心配ごとや悩みごとを相談する相手】※複数回答可

項目	回答数	割合
親	1	25.0%
職場・学校の人	0	0%
配偶者・パートナー	0	0%
民生・児童委員	0	0%
兄弟姉妹	0	0%
子ども	0	0%
その他親族	0	0%
友人・知人	0	0%
近所の人	0	0%
市役所等の相談機関	1	25.0%
その他	0	0%
相談する人はいない	2	50.0%
合計	4	100%

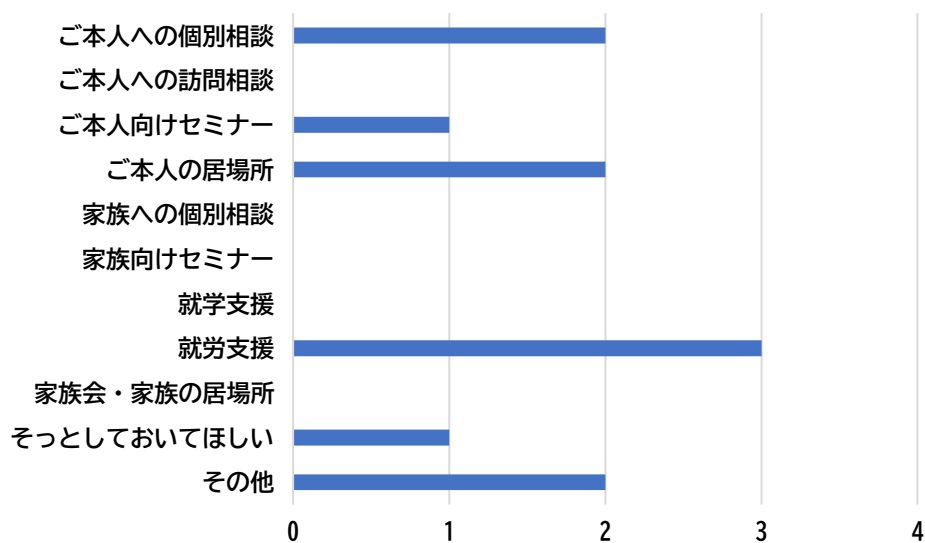


- ・「相談する人はいない」が最も多い。
- ・次いで、「親」、「市役所等の相談機関」が多い。

【必要と感じる支援】※複数回答可

項目	回答数	割合
ご本人への個別相談	2	18.2%
ご本人への訪問相談	0	0%
ご本人向けセミナー	1	9.1%
ご本人の居場所	2	18.2%
家族への個別相談	0	0%
家族向けセミナー	0	0%
就学支援	0	0%
就労支援	3	27.3%
家族会・家族の居場所	0	0%
そっとしておいてほしい	1	9.1%
その他※	2	18.2%
合計	11	100%

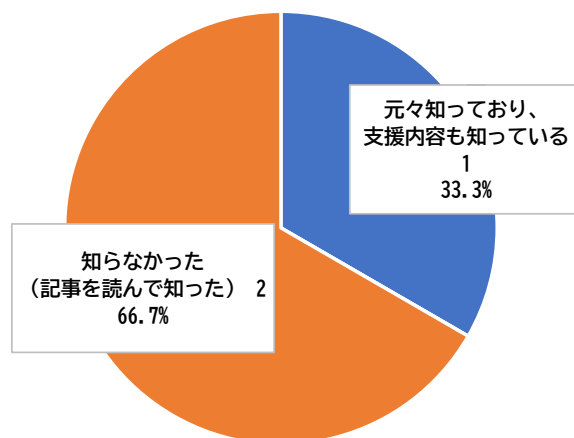
※その他：家族等の援助がない場合の金銭・住居・食の支援。  
書いても何も変わらない。



- ・「就労支援」が最も多い。
- ・次いで、「ご本人への個別相談」、「ご本人の居場所」が多い。

【特集記事で紹介した「宝塚市せいかつ応援センター」をご存じでしたか】

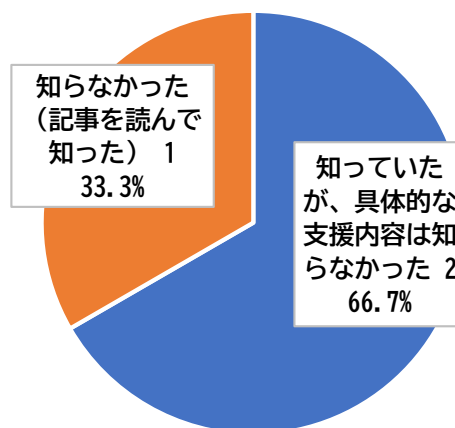
項目	回答数	割合
元々知っており、 支援内容も知っている	1	33.3%
知っていたが、具体的な 支援内容は知らなかった	0	0%
知らなかった (記事を読んで知った)	2	66.7%
合計	3	100%



・「ひきこもり当事者」のうち、半数以上(66.7%)の方が「宝塚市せいかつ応援センター」を「知らなかった」。

【特集記事で紹介した宝塚市の「こもりん広場」をご存じでしたか】

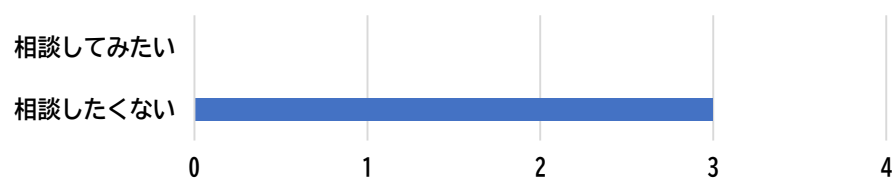
項目	回答数	割合
元々知っており、 支援内容も知っている	0	0%
知っていたが、具体的な 支援内容は知らなかった	2	66.7%
知らなかった (記事を読んで知った)	1	33.3%
合計	3	100%



・「ひきこもり当事者」のうち、半数以上(66.7%)の方が「こもりん広場」を「知っていたが、具体的な支援内容は知らなかった」。

【宝塚市の相談窓口(せいかつ応援センター、こもりん広場)に  
相談してみたいですか】

項目	回答数	割合
相談してみたい	0	0%
相談したくない	3	100%
合計	3	100%



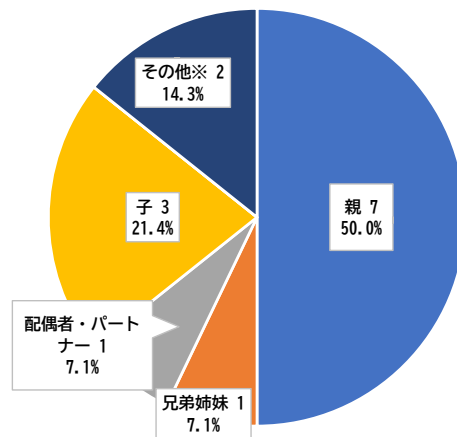
・「ひきこもり当事者」の全員が、「相談したくない」と回答。

### 3 ひきこもり関係者について

回答数35件のうち、14件(40.0%)が、親族や知り合いにひきこもり当事者がいる(ひきこもり関係者)と回答。

#### 【当事者との関係】

項目	回答数	割合
親	7	50.0%
兄弟姉妹	1	7.1%
配偶者・パートナー	1	7.1%
子	3	21.4%
祖父母	0	0%
おじおば	0	0%
その他※	2	14.3%
合計	14	100%

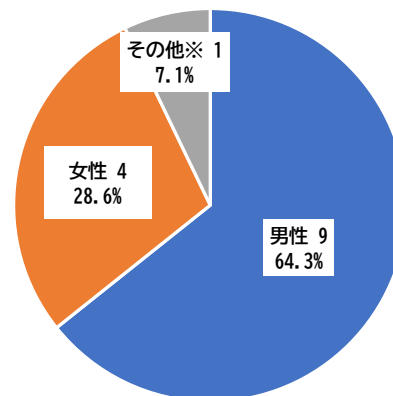


※その他:親族、知人の子、近所の人

- ・ひきこもり当事者との関係は、「親」が最も多い。
- ・次いで、「子」が多い。

#### 【当事者の性別】

項目	回答数	割合
男性	9	64.3%
女性	4	28.6%
その他※	1	7.1%
合計	14	100%

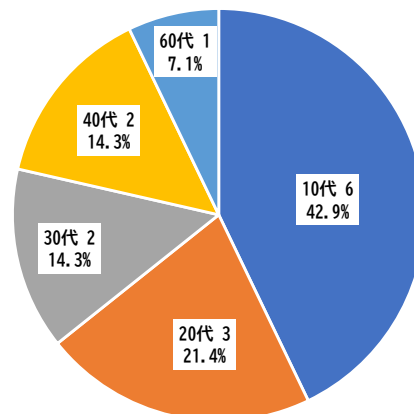


※その他:男女両方とも

- ・男性が女性を上回っている。

【当事者の年齢】

項目	回答数	割合
10代	6	42.9%
20代	3	21.4%
30代	2	14.3%
40代	2	14.3%
60代	1	7.1%
合計	14	100%

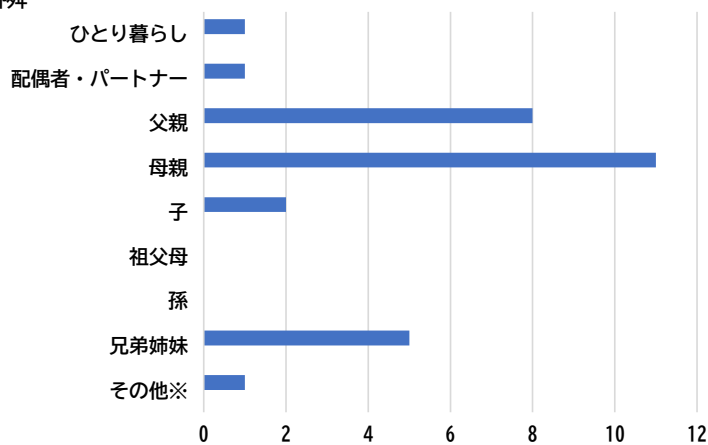


・「10代」が最も多い。次いで、「20代」が多い。

【当事者と同居しているご家族】※複数回答可

項目	回答数	割合
ひとり暮らし	1	3.4%
配偶者・パートナー	1	3.4%
父親	8	27.6%
母親	11	37.9%
子	2	6.9%
祖父母	0	0%
孫	0	0%
兄弟姉妹	5	17.2%
その他※	1	3.4%
合計	29	100%

※その他:近隣



・「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」が多く、ひとり暮らしは少ない。



【当事者の今の生活の経済事情】

項目	回答数	割合
余裕がある	0	0%
普通	7	50.0%
やや厳しい	3	21.4%
非常に厳しい	4	28.6%
わからない	0	0%
合計	14	100%

・経済的に「余裕がある」と回答した方はいなかった。

【当事者の現在の就労・就学等の状況】

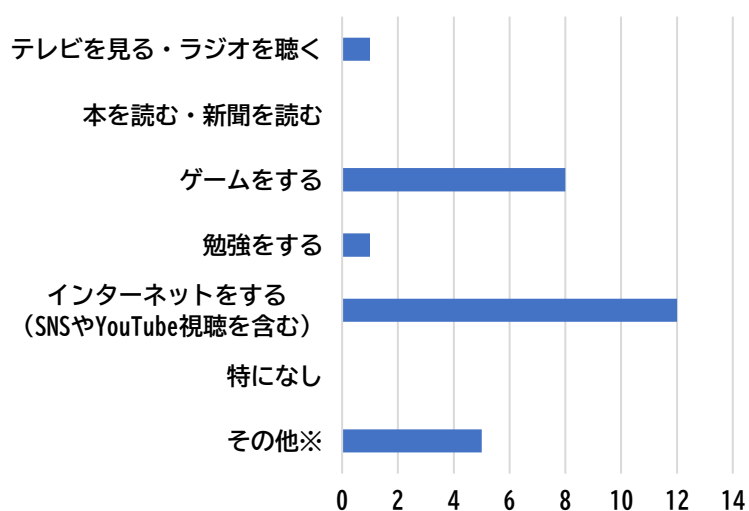
項目	回答数	割合
休職中	0	0%
就学中（予備校生を含む）	2	14.3%
休学中（おおむね半年以上）	2	14.3%
派遣社員などに登録しているが、 現在働いていない	0	0%
既に定年等により退職している	0	0%
専業主婦・主夫	0	0%
家事手伝い	2	14.3%
無職だが求職している	1	7.1%
無職で求職活動していない	4	28.6%
その他※	3	21.4%
合計	14	100%

※その他：精神疾患による不登校、高卒認定試験合格後の進路が決まらない、  
発達障害や複数の精神疾患があり通院中。

【当事者が自宅にいるとき、よくしていること】※複数回答可

項目	回答数	割合
テレビを見る・ラジオを聴く	1	3.7%
本を読む・新聞を読む	0	0%
ゲームをする	8	29.6%
勉強をする	1	3.7%
インターネットをする (SNSやYouTube視聴を含む)	12	44.4%
特になし	0	0%
その他※	5	18.5%
合計	27	100%

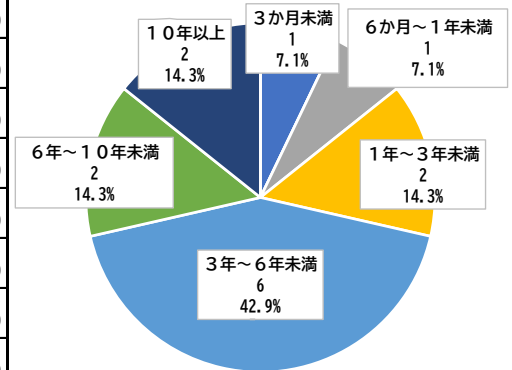
※その他:ダンス、動物の世話や家事、寝る、絵を描く、スマホを見る



・「インターネットをする」が最も多い。次いで、「ゲームをする」が多い。

【当事者が家族以外の他者と交流しなくなった期間】  
（買い物、病院等の窓口でのやり取り等は除く）

項目	回答数	割合
3か月未満	1	7.1%
3～6か月未満	0	0%
6か月～1年未満	1	7.1%
1年～3年未満	2	14.3%
3年～6年未満	6	42.9%
6年～10年未満	2	14.3%
10年以上	2	14.3%
不明	0	0%
合計	14	100%

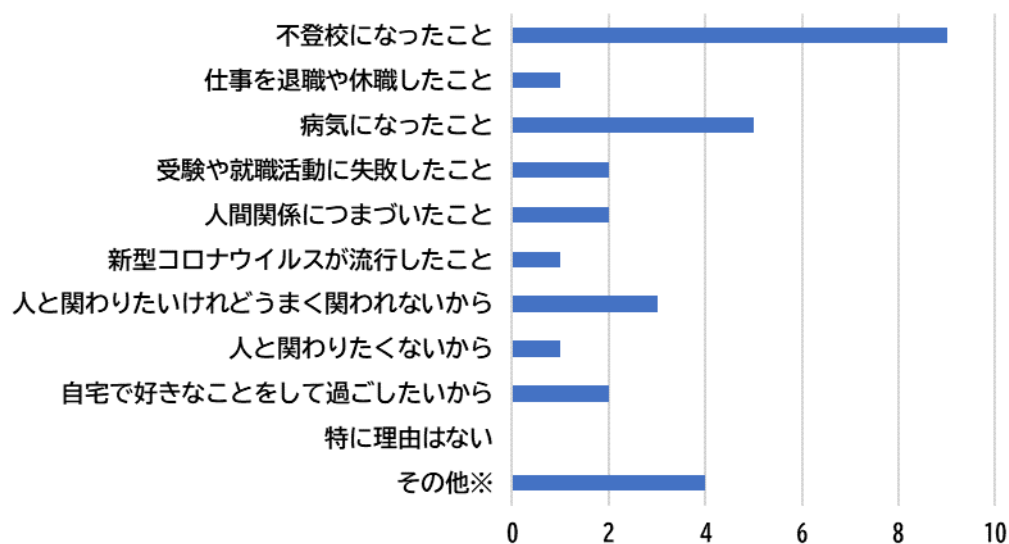


- ・ 7割以上が「3年以上」と回答。ひきこもりの長期化傾向がうかがえる。

【当事者が他者と交流しなくなったきっかけ】※複数回答可

項目	回答数	割合
不登校になったこと	9	30.0%
仕事を退職や休職したこと	1	3.3%
病気になったこと	5	16.7%
受験や就職活動に失敗したこと	2	6.7%
人間関係につまづいたこと	2	6.7%
新型コロナウイルスが流行したこと	1	3.3%
人と関わりたいけれどもうまく関われないから	3	10.0%
人と関わりたいから	1	3.3%
自宅で好きなことをして過ごしたいから	2	6.7%
特に理由はない	0	0%
その他※	4	13.3%
合計	30	100%

※その他:病気が怖いから、学校の不適切な指導によるPTSDの発症、  
いじめと学校の対応の不信感、ひとり暮らしでの体調不良。

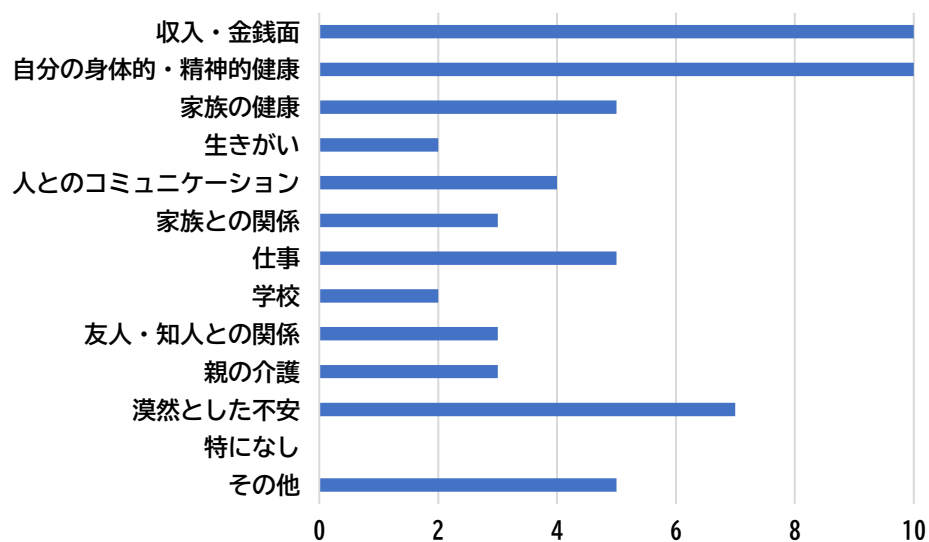


・「不登校になったこと」が最も多く、次いで、「病気になったこと」が多い。

【現在の生活において不安に感じていること】※複数回答可

項目	回答数	割合
収入・金銭面	10	16.9%
自分の身体的・精神的健康	10	16.9%
家族の健康	5	8.5%
生きがい	2	3.4%
人とのコミュニケーション	4	6.8%
家族との関係	3	5.1%
仕事	5	8.5%
学校	2	3.4%
友人・知人との関係	3	5.1%
親の介護	3	5.1%
漠然とした不安	7	11.9%
特になし	0	0%
その他※	5	8.5%
合計	59	100%

※その他:子どもの将来、治療と自立、将来の進路と生活の不安、  
親族の介護、他者とのコミュニケーションや自立、将来への不安。

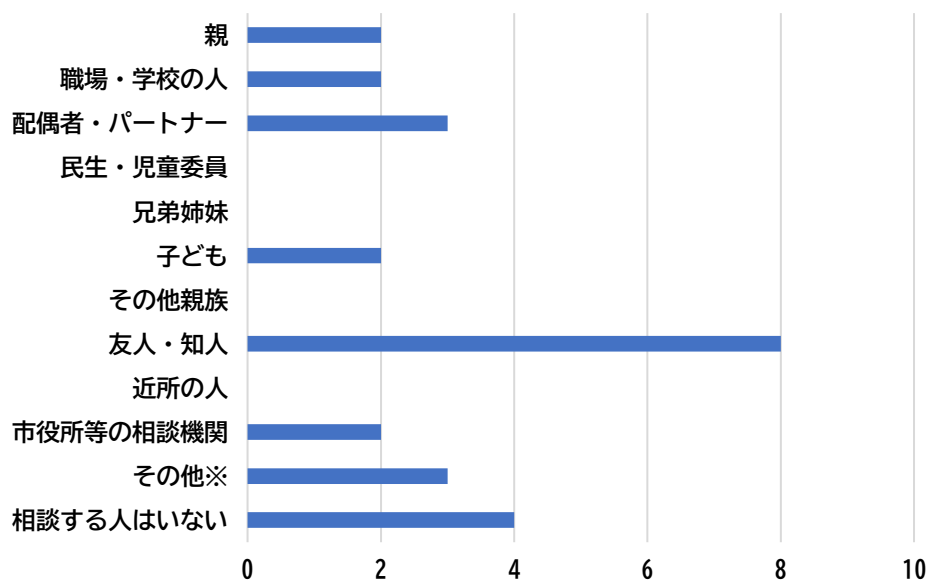


- ・「収入・金銭面」、「自分の身体的・精神的健康」が同数で最も多い。
- ・次いで、「漠然とした不安」が多い。

【日常生活の心配ごとや悩みごとを相談する相手】※複数回答可

項目	回答数	割合
親	2	7.7%
職場・学校の人	2	7.7%
配偶者・パートナー	3	11.5%
民生・児童委員	0	0%
兄弟姉妹	0	0%
子ども	2	7.7%
その他親族	0	0%
友人・知人	8	30.8%
近所の人	0	0%
市役所等の相談機関	2	7.7%
その他※	3	11.5%
相談する人はいない	4	15.4%
合計	26	100%

※その他: カウンセリングの先生、子どもの医療機関、自分のカウンセラー、不登校の親の会の心理士

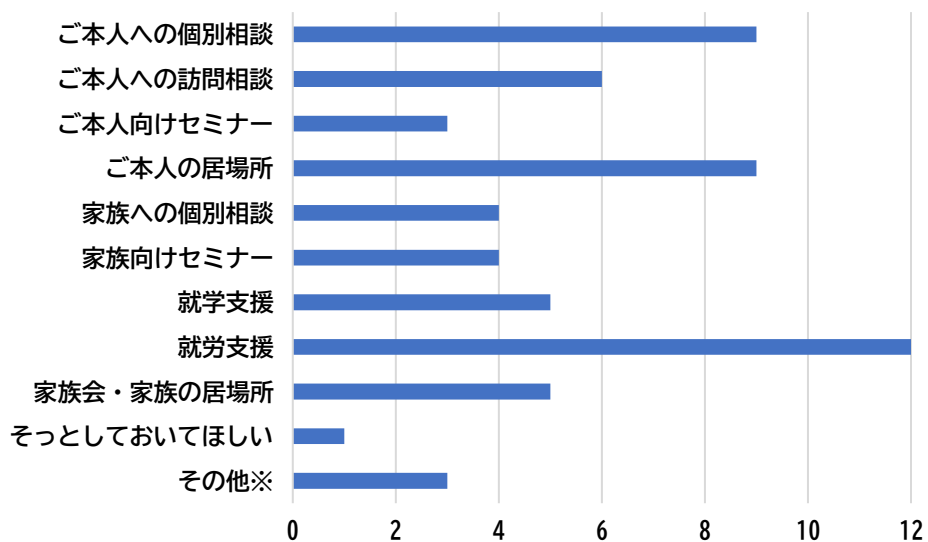


・「友人・知人」が最も多く、次いで、「相談する人はいない」が多い。

【必要と感じる支援】※複数回答可

項目	回答数	割合
ご本人への個別相談	9	14.8%
ご本人への訪問相談	6	9.8%
ご本人向けセミナー	3	4.9%
ご本人の居場所	9	14.8%
家族への個別相談	4	6.6%
家族向けセミナー	4	6.6%
就学支援	5	8.2%
就労支援	12	19.7%
家族会・家族の居場所	5	8.2%
そっとしておいてほしい	1	1.6%
その他※	3	4.9%
合計	61	100%

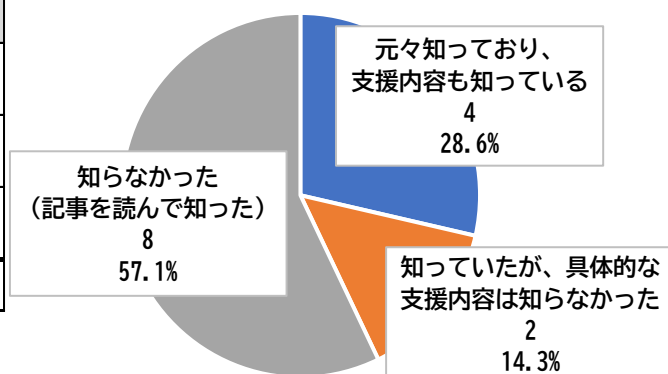
※その他:市民への周知・セミナー、当事者の声を支援につなげる、子ども時代からの継続的な支援や学校の構造改革、一人で生きていける仕組みづくり。



- ・「就労支援」が最も多い。
- ・次いで、「ご本人への個別相談」、「ご本人の居場所」が多い。

【特集記事で紹介した「宝塚市せいかつ応援センター」をご存じでしたか】

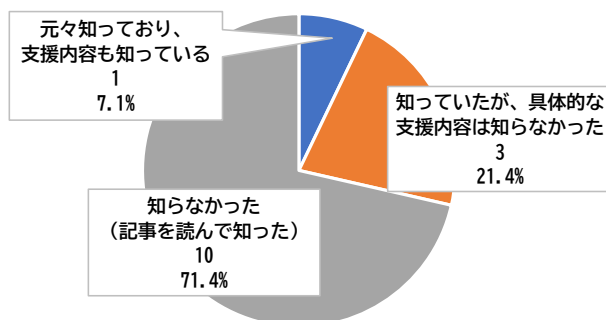
項目	回答数	割合
元々知っており、 支援内容も知っている	4	28.6%
知っていたが、具体的な 支援内容は知らなかった	2	14.3%
知らなかった (記事を読んで知った)	8	57.1%
合計	14	100%



・「ひきこもり関係者」のうち、半数以上(57.1%)の方が宝塚市せいかつ応援センターを「知らなかった」。

【特集記事で紹介した宝塚市の「こもりん広場」をご存じでしたか】

項目	回答数	割合
元々知っており、 支援内容も知っている	1	7.1%
知っていたが、具体的な 支援内容は知らなかった	3	21.4%
知らなかった (記事を読んで知った)	10	71.4%
合計	14	100%

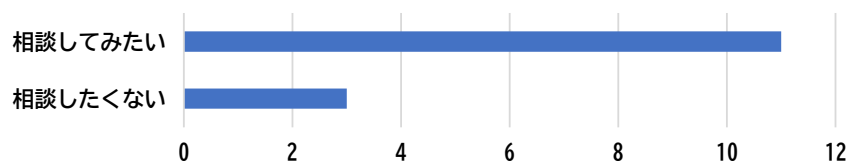


・「ひきこもり関係者」のうち、半数以上(71.4%)の方がこもりん広場を「知らなかった」。



【宝塚市の相談窓口(せいかつ応援センター、こもりん広場)に  
相談してみたいですか】

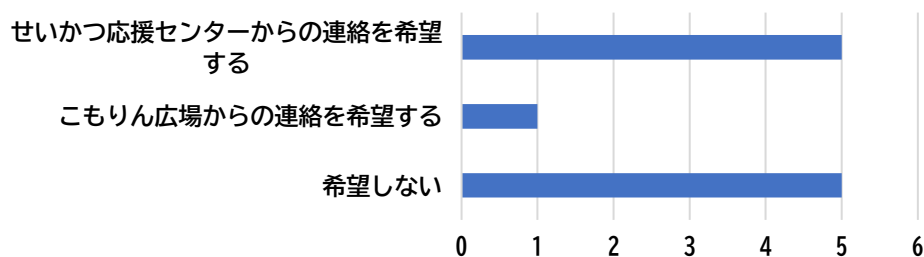
項目	回答数	割合
相談してみたい	11	78.6%
相談したくない	3	21.4%
合計	14	100%



・「ひきこもり関係者」のうち、半数以上(78.6%)の方が宝塚市の相談窓口に「相談してみたい」と回答。

【せいかつ応援センターもしくはこもりん広場の相談員からのご連絡を希望されますか】

項目	回答数	割合
せいかつ応援センターからの連絡を希望する	5	45.5%
こもりん広場からの連絡を希望する	1	9.1%
希望しない	5	45.5%
合計	11	100%



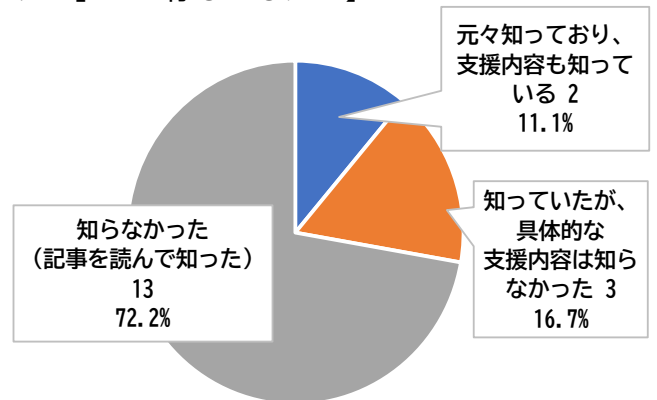
・「ひきこもり関係者」で相談をしてみたいと回答した方のうち、半数以上(54.6%)の方が宝塚市の相談窓口からの「連絡を希望する」と回答。

#### 4 その他の回答者について

回答数35件のうち、18件(51.4%)が、親族や知り合いにひきこもり当事者が「いない」と回答。

【特集記事で紹介した「宝塚市せいかつ応援センター」をご存じでしたか】

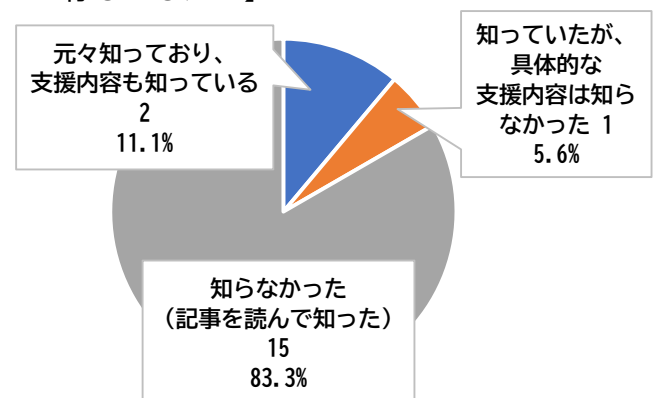
項目	回答数	割合
元々知っており、支援内容も知っている	2	11.1%
知っていたが、具体的な支援内容は知らなかった	3	16.7%
知らなかった(記事を読んで知った)	13	72.2%
合計	18	100%



・7割以上が「知らなかった」と回答。

【特集記事で紹介した宝塚市の「こもりん広場」をご存じでしたか】

項目	回答数	割合
元々知っており、支援内容も知っている	2	11.1%
知っていたが、具体的な支援内容は知らなかった	1	5.6%
知らなかった(記事を読んで知った)	15	83.3%
合計	18	100%



・8割以上が「知らなかった」と回答。

## 5 自由意見

問「その他ご意見等がございましたら、自由に記載してください」（自由意見欄）について、近しい内容の回答をそれぞれ2つのカテゴリー（「ひきこもりに関するご意見・要望等」「市政に関するご意見・要望等」）に分類し、集計を行った。

### <自由意見欄>

#### （1）ひきこもり当事者

カテゴリー	件数	内容
ひきこもりに関するご意見・要望等	2件	・本アンケートに対してのご意見 ・せいかつ応援センターでの対応に関するご意見
市政に関するご意見・要望等	1件	・ミドル世代や高齢者への支援に関するご意見

#### （2）ひきこもり関係者

カテゴリー	件数	内容
ひきこもりに関するご意見・要望等	9件	・相談窓口の機関に関する要望 ・ひきこもりの相談に関するご意見 ・ひきこもり支援に関する要望 ・当事者への見守りに関するご意見 ・本アンケートへの感想 ・本アンケートの回答選択肢に関するご意見
市政に関するご意見・要望等	2件	・福祉拠点の設置に関する要望 ・市立病院の診療科に関する要望

#### （3）その他

カテゴリー	件数	内容
ひきこもりに関するご意見・要望等	6件	・ひきこもり支援に関する要望・ご意見 ・ひきこもりに関する感想

・「ひきこもりに関するご意見・要望等」では、過去に市相談機関に相談したが対応に傷ついたとおっしゃる方がいた一方、広報たからづかの特集記事や本アンケート調査を

通して市相談機関の存在を知り、相談したいという声があった。また、ひきこもり支援の充実や関係部門との横断的な連携強化を望む声が多かった。

・「市政に関するご意見・要望等」では、全世代への福祉施策の充実や、福祉拠点の創設、市立病院の診療科増設に関する声があった。

## 6 アンケートフォーム

### ひきこもりに関するアンケート

特集記事をお読みいただきありがとうございました。

ひきこもりの当事者の方や、そのご家族・知人等の方に向けたニーズ調査のためのアンケートにぜひご協力をお願いします。

設問は最大 18 問あります。回答の選択肢によって設問数が変わります。

(まだ特集記事をお読みでない方は、お読みいただいてからご回答ください。)

**必須**

【問1】あなた自身を含め、ご家族等身近にひきこもり状態の方はいますか。該当する方がいる場合はその人数をお答えください。(ひきこもり状態の説明は広報3ページ目の「ひきこもりってどんな状態？」をご参照ください。)

- ☐ 1人
- ☐ 2人
- ☐ 3人
- ☐ 4人以上
- ☐ いない

**必須**

【問2】ひきこもり状態の方から見ると、あなたはどのような関係にありますか。 ※該当する方が複数いる場合は、一番気にかかる方とのご関係についてお答えください。

- ☐ 本人
- ☐ 親
- ☐ 兄弟姉妹
- ☐ 配偶者・パートナー
- ☐ 子
- ☐ 祖父母
- ☐ おじおば
- ☐ その他

必須

ひきこもり状態の方との関係（その他の場合、入力してください）

必須

【問3】統計上必要ですので、ひきこもり状態の方の自認する性を教えてください。

- ☐ 男
- ☐ 女
- ☐ （                      ）

必須

自認する性を入力してください

必須

【問4】ひきこもり状態の方の年齢

- ☐ 10代
- ☐ 20代
- ☐ 30代
- ☐ 40代
- ☐ 50代
- ☐ 60代
- ☐ 70代
- ☐ 80歳以上

**必須** 【問5】ひきこもり状態の方と同居しているご家族（複数回答可）

ひとり暮らし  
配偶者・パートナー  
父親  
母親  
子  
祖父母  
孫  
兄弟姉妹  
その他

**必須** 同居しているご家族（その他の場合、入力してください）

**必須** 【問6】ひきこもり状態の方の属する世帯の今の生活の経済事情（あなたがその方と同世帯でない場合は、客観的に見た印象をお答えください。）

- ☐ 余裕がある
- ☐ 普通
- ☐ やや厳しい
- ☐ 非常に厳しい
- ☐ わからない

必須

【問7】ひきこもり状態の方の現在の就労・就学等の状況

- ☐ 休職中
- ☐ 就学中（予備校生を含む）
- ☐ 休学中（おおむね半年以上）
- ☐ 派遣社員などに登録しているが、現在働いていない
- ☐ 既に定年等により退職している
- ☐ 専業主婦・主夫
- ☐ 家事手伝い
- ☐ 無職だが求職している
- ☐ 無職で求職活動していない
- ☐ その他

必須

現在の就労・就学等の状況（その他の場合、入力してください）

必須

【問8】ひきこもり状態の方が自宅にいるとき、よくしていること（複数回答可）

- テレビを見る・ラジオを聴く
- 本を読む・新聞を読む
- ゲームをする
- 勉強をする
- インターネットをする（SNSやYouTube視聴を含む）
- 特になし
- その他

必須

自宅にいるとき、よくしていること（その他の場合、入力してください）



必須

【問9】ひきこもり状態の方が家族以外の他者と交流しなくなってからどれくらい経ちますか。（買い物、図書館、病院等の窓口でのやり取り等は除く）

- ☐ 3か月未満
- ☐ 3～6か月未満
- ☐ 6か月～1年未満
- ☐ 1年～3年未満
- ☐ 3年～6年未満
- ☐ 6年～10年未満
- ☐ 10年以上
- ☐ 不明

必須

【問10】ひきこもり状態の方が他者と交流しなくなったきっかけを差し支えない範囲でお答えください。（複数回答可）

不登校になったこと  
仕事を退職や休職したこと  
病気になったこと  
受験や就職活動に失敗したこと  
人間関係につまづいたこと  
新型コロナウイルスが流行したこと  
人と関わりたいけれどもうまく関われないから  
人と関わりたくないから  
自宅で好きなことをして過ごしたいから  
特に理由はない  
その他

必須

他者と交流しなくなったきっかけ（その他の場合、入力してください）

**必須** 【問11】あなた（回答者の方）が現在の生活において、不安に感じていること（複数回答可）

収入・金銭面  
自分の身体的、精神的健康  
家族の健康  
生きがい  
人とのコミュニケーション  
家族との関係  
仕事  
学校  
友人・知人との関係  
親の介護  
漠然とした不安  
特になし  
その他

**必須** 現在の生活において、不安に感じていること（その他の場合、入力してください）

**必須** 【問12】あなた（回答者の方）が日常生活の心配ごとや悩みごとを相談する相手（複数回答可）

親  
職場・学校の人  
配偶者・パートナー  
民生・児童委員  
兄弟姉妹  
子ども  
その他親族  
友人・知人  
近所の人  
市役所等の相談機関  
その他  
相談する人はいない

**必須** 日常生活の心配ごとや悩みごとを相談する相手（その他の場合、入力してください）

**必須** 【問13】どのようなひきこもり支援が必要と感じますか。（複数回答可）

ご本人への個別相談  
ご本人への訪問相談  
ご本人向けセミナー  
ご本人の居場所  
家族への個別相談  
家族向けセミナー  
就学支援  
就労支援  
家族会・家族の居場所  
そっとしておいてほしい  
その他

**必須** 必要なひきこもり支援（その他の場合、入力してください）

**必須** 【問14】特集記事で紹介した「宝塚市せいかつ応援センター」をご存じでしたか。

- ☐ 元々知っており、支援内容も知っている
- ☐ 知っていたが、具体的な支援内容は知らなかった
- ☐ 知らなかった（記事を読んで知った）

**必須** 【問15】特集記事で紹介した宝塚市の「こもりん広場」をご存じでしたか。

- ☐ 元々知っており、支援内容を知っている
- ☐ 元々知っていたが、具体的な内容は知らなかった
- ☐ 知らなかった（記事を読んで知った）

**必須** 【問16】宝塚市の相談窓口（せいかつ応援センター、こもりん広場）に相談してみたいと思いますか。

- ☐ 相談してみたい
- ☐ 相談したくない

必須

【問17】せいかつ応援センターもしくはこもりん広場の相談員からのご連絡を希望されますか。

- ☐ せいかつ応援センターからの連絡を希望する
- ☐ こもりん広場からの連絡を希望する
- ☐ 希望しない

必須

連絡先氏名

必須

連絡先（どちらか一方でも可）

電話番号

メールアドレス

必須

電話番号

必須

メールアドレス

必須

メールアドレス（確認用）

必須

【個人情報の利用目的・取扱いについて】 連絡先に入力していただいた個人情報は、宝塚市の相談窓口からの連絡を希望された方への連絡時にのみ使用し、本人の許可なく第三者に個人情報を開示・提供することはありません。

上記個人情報の利用目的・取扱いについて、同意する。

【問18】その他ご意見等ございましたら、自由に記載してください。

√回答